

○総会

昭和41年度総会は去る6月19日（日）、大分市の林業会館で行われました。出席者は約40名でした。10時30分から委員の研究発表が行われました。

岡領沢水村より天領名子山村に貸し渡した畑・田野について

佐藤 満洋

大友氏を背景とした奈多氏

水口 忠孝

大友家宝物目録とその所在

立川 輝信

九重山麓における公有地入会とその変化形態

勝目 忍

九州の製蠶業における労働力（要旨）

野口喜久雄

野口氏の発表は第41号に載せた同名の論文の要旨を説明したものでした。午後には総会に続いて、兼子俊一教授の「くじゅうの観光開発」と題する公開講演がありました。

なお、総会において本年度より、会誌の編集を分担制にすることがきまり、各号の発行予定と編集責任者は次のようになりました。

42 月号

9月

染矢多喜男

43・封合符号

12月

立川 輝信・勝目 忍

45 月号

9月

中野 幡能

○一日実施見学

9月23日午前8時30分、大分駅前を出発しました。朝から小雨模様であったので、参加者は予定より減りましたが、それでも総勢百三十余名が別府から大型バス9台に分乗しました。渡辺委員長をはじめ、兼子俊一・辛島詞士・立川輝信・後藤武夫・安部巖・渡辺克己氏等の説明を聞きながら、安心院町を経て院内町竜岩寺に着きました。雨の中を全員下車、岡指定の重要文化財であり、楠の一木造りといわれる阿弥陀如来・薬師如来・不動明王を拝んで、住職や渡辺・辛島両先生の説明に一層の感銘をうける。次で秋色濃い山道を西椎屋の滝へ急ぎました。降り止まない雨の中を滝つぼへの険しい道をたどって、その雄大な景観を賞めました。バスはさらにメーサーとして天然記念物に指定されている岩扇山を左手に見て、珍珠町に入りました。久留島氏邸跡の三島公園を見学して、町のご好意による山路踊でくつろいだのち、童門の滝に行きました。西椎屋とは対照的に女性的な滝を眺めながら、住職から故事の説明を聞きました。瑞巖寺の石仏に着いた時は予定の時間をかなり過ぎて、暮色が濃くなっていましたが、一同熱心に見学して一日旅行に堪能しました。珍珠町からは、高橋猪一郎・得重昭三郎の両先生が、わざわざ大分から同行され、珍珠町地方のご案内と説明をして下さったことを厚く感謝します。（藤井幸良記）